

TIMETABLE

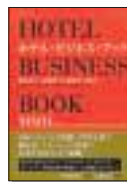
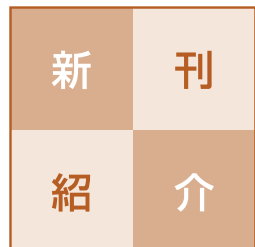
12月25日(月) 振替授業日(大学・短期大学)
冬期休暇開始(大学院)〔至1月6日(土)〕
(法科大学院)〔至1月5日(金)〕
26日(火) 冬期休暇開始(大学・短期大学)〔至1月6日(土)〕
平成19年
1月6日(土) 後期授業再開(法科大学院)
9日(火) 後期授業再開(大学・短期大学・大学院)
19日(金) 後期授業終了(法科大学院)
20日(土) 後期補講(法科大学院)〔至28日(日)〕
25日(木) 後期授業終了(大学院)
27日(土) 学年試験開始(大学院)〔至2月10日(土)〕
29日(月) 後期授業終了(大学・短期大学)
30日(火) 後期試験開始(大学・短期大学)〔至2月14日(水)〕

2月2日(金) 後期授業終了(大学院)
4日(日) 後期試験開始(法科大学院)〔至11日(日)〕
17日(土) 修士論文口述試験(大学院・法学研究科)〔至21日(水)〕
後期追試験(法科大学院)〔18日(日)〕
3月2日(金) 修士論文口述試験(大学院 商学・経済学・国際学・
コンピュータサイエンス研究科)〔至9日(金)〕
3日(土) 後期再試験(法科大学院) 最終試験(法科大学院)〔至4日(日)〕
6日(火) 後期追試験・再試験(大学・短期大学)〔至3月9日(金)〕
11日(日) 最終試験再試験(法科大学院)
20日(火) 卒業式
23日(金) 前期オリエンテーション(大学)〔至4月上旬〕
28日(水) 前期オリエンテーション(短期大学)〔至4月上旬〕
31日(土) 学年終了

L'horloge

Osaka Gakuin University
Public Relations Bulletin

ロルロージュ No. 132
November 2006



『ホテルビジネスブック』

仲谷 秀一 流通科学部 教授
杉原 淳子 ホスピタリティインダストリー研究所 助教授 共著
臨川書店



『はじめて学ぶ乳幼児の心理
―こころの育ちと発達―の支援―』
山本 博樹 流通科学部 助教授 著
有斐閣



『発達臨床教育相談マニュアル
―アセスメントと支援の実践―』
山本 博樹 流通科学部 助教授 著
川島書店



『増補版 競争政策と経済政策』
和田 聡子 経済学部 助教授 著
晃洋書房

大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.132
「L'horloge」とはフランス語で大時計
という意味。大阪学院大学のシンボル
である時計塔を表しています。

November 2006

●発行 大阪学院大学
大阪学院短期大学
●編集 広報部

〒564-8511
吹田市岸部南二丁目36番1号
☎(06)6381-8434(代表)

URL
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

編集後記

本号では、1997年卒で全日空チーフパーサーをしておられる酒井智子さんにご登場いただきました。酒井さんは1年次生のときから藤田恵美子助教授の薫陶を得られ、国際学部の卒業演習では三上敦史教授に学ばれました。お話の内容から、いかに早くからキャビンアテンダントを目指して研究努力を重ねられたかに感嘆するばかりであります。お話は航空業界を目指す人ばかりではなく、ほかの業界を目指す学生諸君にも大変刺激的で参考になることです。さらには、お子さんを育てながら職場に復帰されたことは、女子学生諸君に勇気を与えることに違いありません。さわやかな秋にさわやかな話題を提供できたことと信じております。広報部では小倉康三先生がキャリアセンターに移られ、新しく杉本公彦先生をお迎えしました。今後も全員でがんばっていききたいと思います。

SUCCESS

現役キャビンアテンダントの
先輩を囲んで

～仕事と育児に大奮闘!! その両方
で活躍するための秘訣!～

FOCUS

キャリアセンター

ESSAY

利き手についての取材から
伊田 行秀

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST
INFORMATION

新刊紹介

現役 キャビンアテンダントの 先輩を囲んで

～ 仕事に育児に大奮闘!!～
その両方で活躍するための秘訣!?



～ 出席者 ～ (順不同)

司会進行：藤田恵美子 助教授
ホスピタリティインダストリー研究所研究員

ゲスト：酒井 智子 '97 国際学部卒業
全日空チーフ・キャビン・アテンダント

内定者：真鍋 裕香 外国語学部 4 年次生
仲神 悠 外国語学部 4 年次生
在学学生：成 智香 国際学部 2 年次生
前畑英理子 国際学部 2 年次生

広報部長：片山 邦雄 国際学部教授

※ 同代理：小倉 康三 企業情報学部教授

※ 現在は杉本公彦 流通科学部 助教授に変わっております。

藤田 今回は、仕事と育児を両立させている現役キャビンアテンダントの酒井智子さんにご参加いただき、座談会を行います。

私と酒井さんの出会いは、短期大学の授業である「航空業務」でした。模擬面接のときにとても印象が良かったので、「ぜひ航空業界に!」と思ったのですが、酒井さんは大学への進学を希望し、国際学部編入学されました。

その後、全日空に合格され、私が知る限り、結婚してお子様を持って頑張り続けているのは酒井さんだけです。今日は仕事を目指すだけではなく、好きな仕事を続けるための苦勞、続けて良かったという話が聞ける機会ですので、遠慮なく話を聞いていただきたいと思います。

酒井さんが大学に来られるのは、9 年ぶりですので、少し大学のことを説明します。酒井さんの在学中は、航空関係の授業は短期大学にしか開講していませんでしたが、3 年前から大学でも航空関係の授業が受講できるようになりました。

また、今年の 4 月からは、ホスピタリティインダストリー研究所(※1)の設立に伴い「ホスピタリティ・マネジメント・プログラム」が開講され、航空・旅行・観光に関する授業がさらに充実しました。

このプログラムを受講し、見事、夢が叶い、航空会社に内定が決まった在学生が、真鍋さんと仲神さんの二人で、現在、受講中なのが、成さんと前畑さんの二人です。

それでは、真鍋さんから自己紹介をお願いします。
真鍋 外国語学部英語学科 4 年次生の真鍋と申します。私は JAL エクスプレスに内定をいただき、来年 7 月に入社することに決めました。

仲神 外国語学部英語学科 4 年次生の仲神です。私も JAL スカイ九州に内定をいただき、来年 4 月からグランドスタッフになることが決まりました。

成 国際学部 2 年次生の成です。現在、ホスピタリティ・マネジメント・プログラムを受講しています。

前畑 国際学部 2 年次生の前畑です。今、ホスピタリティ・マネジメント・プログラムを受講しており、業界に

どういう仕事があるのかということを勉強しています。

藤田 それでは、酒井さんから今のお仕事の状況をお話いただけますか。

藤田 恵美子 助教授
ホスピタリティインダストリー研究所研究員
元日本航空客室乗務員、接遇インストラクター

※1 ホスピタリティインダストリー研究所
研究員は、ホテル総支配人をはじめ、ホテル・航空・旅行・ファッション業界などのホスピタリティ産業において実務経験豊富な教員で構成。各業界を目指す学生への個別指導を目的とした少人数制の「ホスピタリティ・マネジメント・プログラム」を開講している。



酒井 智子さん プロフィール

1995 年 4 月 大阪学院短期大学国際文化学科卒業
大阪学院大学国際学部編入学
1997 年 3 月 大阪学院大学国際学部卒業
1997 年 4 月 全日本空輸株式会社 (ANA) 入社
1997 年 6 月 大阪空港支店 客室部 客室乗務員課配属
(2004 年 客室本部関西客室部に基地集約および名称変更)
2001 年 10 月 国内線チーフパーサー資格取得
2003 年 4 月 セールスリーダーの任命を受ける
「第 3 回 CA 企画機内販売商品」開発プロジェクトに参加
2004 年 5 月 出産育児のため休職
2006 年 4 月 復職 現在に至る

酒井 現在、私は大阪国際空港で勤務しており、ここでは関西国際空港と神戸空港、大阪国際空港、中部国際空港の 4 つの空港を関西客室部に配属された人たちが乗務しています。

藤田 大阪国際と関西国際が一緒になり、神戸ができたので三つだと思いましたが、中部国際も入っているのでも少し大変ですね。その上、酒井さんにとって出産は大きな出来事でしたね。

酒井 最初は 2 年間のブランクがすごく大きく感じました。休職中にアメリカでテロが起こり、保安体勢がかなり厳しくなっていたことや、会社の社内規定も変わり、戸惑うこともありました。今年 4 月に復職しましたが、3 か月ぐらいたって、ようやく慣れてきたという感じです。

2 年ぶりのフライトでは、編制外で割り当ててもらい、初日はインストラクターの方と一緒に乗務しました。いざお客様が乗られてフライトすると、内心はすごく緊張していましたが、体は覚えていましたね。

藤田 2 年間のブランクとは、産前産後に 1 年間ずつ産休があるということですか。

酒井 そうです。

藤田 そこまでであるというのはありがたいですね。

酒井 弊社の規定では懐妊が確認されると乗務することができず、休職に入ることになっています。

藤田 皆さんからも酒井さんに質問してください。

真鍋 新入訓練で思い出に残っていることはありますか。



真鍋 裕香
外国語学部英語学科4次年生
ホスピタリティ・マネジメント・
プログラム受講
JALエクスプレス内定



仲神 悠
外国語学部英語学科4次年生
ホスピタリティ・マネジメント・
プログラム受講
JALスカイ九州内定

——出産、そして復職

酒井 すごく覚えていることは、羽田の訓練センターに通っていたときに9時から5時までみっちりカリキュラムがあり、それを終えても練習しないと覚えきれないので、寮に帰ってから食堂を借りて、みんなで火災が発生したときの練習をしたことが思い出に残っています。

藤田 訓練は大きな声を出していかに誘導するかですから、いかに保安要員という部分が大きいかということに改めて認識しますね。

真鍋 復職されたときのことをお伺いします。先ほどインストラクターの方が一日一緒に飛んでくださるとお話をしていましたが、事前テストなどがなく、いきなりフライトに行かれるのですか。

酒井 復職に関しては、復職日に管理職から会社を休む前の段階から今の段階の説明が一日設けられます。私たちにとってとても大事なキャビンオペレーションマニュアルというものがあるのですが、差し変わって

いるところの確認を一緒にしていただきます。

また、1年以上乗務をしていないと、緊急訓練を受け直す必要があります。訓練をして乗務ができるという状況なので、地上勤務として説明が1日と緊急の訓練が丸1日。後はANAには機材が4種類ほどあり、各機材によってドア操作が変わるので、1日中ドアの開け閉めを確認して、合格して初めてフライトができます。

藤田 なったからには、条件さえ許せばできるだけ続けたいというのが本音ですね（笑）。今はどれぐらいの割合ですか。

酒井 ママさんCAがとて多くて、私が懐妊育児休職に入った段階でも40人ぐらいの方が戻ってこられました。今も10～20人ぐらいの方が休職に入られ、この方たちがまた戻ってこられます。成田も休職の方がほとんど出てきています。

前畑 産休に入った後の仕事体験と言いますか、出産する前と後では違いますか。それと子育ては大変ではないですか。

酒井 育児日として、通常の有給休暇以外に1か月に3日まで休暇が取れます。有休も申請できますので、少しお休みが確保できます。それとは別に小学校就学までに育児看護日が1年間に5日ほど取れますので、どうしても休まなければならないときは、年間で5日残っている育児看護日を使わせてもらっています。

前畑 家を空けることもありますよね。

酒井 普通にあります。3泊4日ということもあります。家族の助けがなければ続けられません。泊まりのときは、お姑さんと主人に子供の送り迎えや寝かしつなどを手伝ってもらっています。

——チーフパーサーの仕事

真鍋 チーフパーサーになってからの具体的な仕事内

容を教えてください。

酒井 チーフパーサーは客室の責任者で、機長から責任を委譲されている業務もあります。飛行機全体の安全運行と定時運行ということに意識を持って、搭乗開始時刻が決まっていますので、地上係員との打ち合わせや情報をもらえば機長や客室乗務員に伝えたり、いろいろなところとコミュニケーションを取ります。

遅れが発生すれば、お客様に遅れの理由のアナウンスを入れるなど、いろいろなところに対して発信していかなければならない業務が増えてきます。サービスのコーディネートも気流の関係の兼ね合いで、どのようにサービスを組み立てるのかを考えて指示を出します。

また、全体のことを把握しつつ、客室乗務員としてのサービスも行います。エンターテインメント設備も操作のスイッチがチーフパーサーのポジションにありますので、どのタイミングで番組を流すか、機内販売もありますので、どのようにアピールしていくかを考えます。

飛行機の中には、旅慣れない方や8月は夏休みでするので、お子様の一人旅ジュニアパイロットで乗って来るお子様も多いです。飛行機に乗り慣れているお子様はどうしても1人で降りようとしめますので、見失わないように、「ちょっと待って！」というような口調になりますが、それも全部チーフパーサーの責任のもとということになってきます。

仲神 チーフパーサーの資格を取るのに必要なことは何ですか。

酒井 まず、アナウンスレベルを上げることと、英語力を上げていくことです。年に1回外国人の先生と電話でインタビューテストがあり、どれだけ話せるかというチェックがありますので、各人の能力を上げていくことが必要になります。

後はフライトの中の役割です。一つのフライトをす



成 智香
国際学部2次年生
ホスピタリティ・マネジメント・
プログラム受講



前畑 英理子
国際学部2次年生
ホスピタリティ・マネジメント・
プログラム受講

るに当たっては全員で役割分担をしますが、チーフパーサーの資格を取るには、必要なイレギュラー、「着陸ができないのでほかの空港に行きます」という情報がきたときの機内での対応の仕方など、いろいろあります。緊急時ではないイレギュラーの対応能力もつけていく必要があります。

いきなりチーフパーサーの資格取得のためではなく、経験を重ねることと、自己の能力開発、英語とアナウンスの力を伸ばしてテストを受けて初めて付与されるという感じです。

藤田 皆さん、授業でCS（カスタマーサティスファクション＝顧客満足）の実践をしていますよね。CSの実践がどれぐらいできているか、会社が能力を認めなければチーフパーサーという資格は与えられないのです。

——就職活動～現在

成 私は今は2次生で、3次生から就職活動を早めにやろうと思っていますが、酒井さんが就職活動に向けて学生のときに何をされたのかを教えてください。

酒井 まず、キャビンアテンダントにしてもグランドスタッフにしても、仕事の内容が分からなかったの、とりあえず知るところから始めました。空港に通ったり、大学の長い休みを利用して実際に海外に行ったり、会社の時刻表・タイムテーブルを見て、どのようなサービスがあるのか情報収集に努めました。

そこから「こういう仕事なのか」と自分でイメージできるようになりました。仕事がイメージできたら次にどの会社自分に魅力を感じるのかということで、各社を踏み込んで見ていくことをしました。

私の場合はANAに引かれ、学生のときにANAの予約センターでアルバイトの募集があったので、そこに





出向いて予約を取る業務をしました。そこで、いろいろ教えてくださいのインストラクターの方がついてくださいましたが、クレームがあったときの対応にとっても愛社精神を感じ、魅力を感じました。

前畑 今の仕事に就かれるまでの面接試験での実体験を教えてください。

酒井 1次試験では5人で面接し、2次が3人、3次が1人でした。

前畑 グループディスカッションはありましたか。

酒井 1次のときは5人で、面接官との直接の質問もあり、5人で話してみてくださいということもありました。皆さん、客室乗務員を目指してきている方だったので、面接会場も華やかでした(笑)。そして、とても積極的で、短い時間で自分を出すのは難しかったという印象が残っています。

前畑 グループディスカッションをするときはどういうテーマで話をされましたか。

真鍋 私のときは、8人ぐらいの受験生の方が座って、「皆さん一人ひとりが客室乗務員で、国際線の機内サービスをするのに、何かおもしろいことを考えてください」というテーマで、絶対ありえないことも意見に出て、機内の中身を変えろとか、ストレッチができるような広場を作るとか、現実ではできないようなことも

みんなでワイワイ提案しました。

藤田 今は、どれだけ、いろいろなサービスに対してアイデアがあるか、企画や興味を持っているか、ということも見られるようです。

前畑 求められる人材では、どれだけ会社に対して愛情があるかが重視されるということですか。

酒井 そういうところもちろん求められていますし、自身の感性が問われるようになってきました。「客室乗務員が気付いてくれなかった、こんなことに気付いてくれた」というように、どちらにもなる状況が度々ありますので、感性を豊かに磨くということが大きなキーポイントになります。

いろんな状況に対応していくには、自分が目の前のお客様に対して誠実でいられるかどうか。日ごろからの優しい気持ちや相手に対する思いやりという、当たり前のことがフライトの中に出てきます。当たり前のことほど真剣に、小さなことほど丁寧に、ということにこだわりを持てるかどうかということが、今、求められている人材ではないでしょうか。

会社も人材を求めていますし、社会的にも若い皆さんの影響力はとても大きいので、可能性を秘めた皆さんには、そういう熱意というか、大事な部分が問われています。そこが求められると思いますので、食欲に新しいことや社会的なことに興味や意見を持つことが、実際に社会に出たときに問われます。

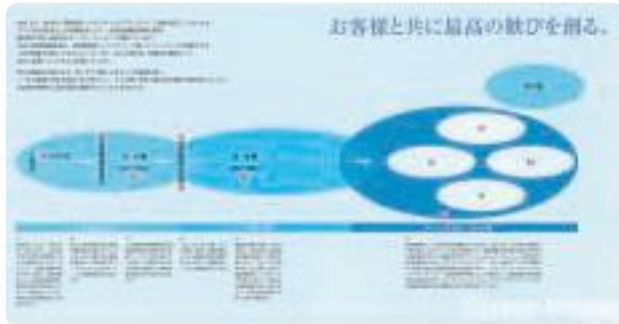
真鍋 先ほど、セールスリーダーと言われましたが、セールスリーダーは具体的にはどういうことですか。

酒井 機内販売の売上に貢献していくというか、500人近く客室乗務員がいる支店でセールスリーダー、私が担当したときには5～6名いました

が、その5名を中心に、組織に発信したり、商品開発の状況を本部の会議に参加して、それを支店に持って帰ってきちんと話したりという組織の役割です。

後はフライトに行って、セールスリーダーとフライトをするときよく売れますというような、コツを持っている人たちというか、販売するときのコツを伝承したりしています。

「何か良いものがあれば欲しい」というお客様のニーズを察知し、「売る」ということよりも、お客様にお買



当たり前のことほど真剣に、小さなことほど丁寧にということにこだわりを持ってやっていけるかどうかということが、今、求められている人材ではないでしょうか。

い物を楽しんでいただく。両方がハッピーな気持ちになるようなウィンウィンの関係を作っていくということは、機内販売では実践しやすいです。

真鍋 商品の開発もされるのですか。

酒井 商品開発の方が、この年代の方にはこういうものが売れるのではないかと統計を取って開発を進めていますが、時には「客室乗務員の意見を下さい」ということでアンケートを行い、意見収集を行っています。

小倉 自分の企画、文章を考えたり、デザインを考えたり、コピーライター的なこともされるのですか。

酒井 何もないところから始めると時間がかかるので、ディスカッションし、実際のフライトでお勤めするときのお客様の反応、意見を出して開発に携わっていました。

——常に向上心が持て、自分自身が成長していける

藤田 キャビンアテンダントになってよかった、子供を産んでも続けたいと思う魅力は何でしょうか。

酒井 よかったと思うことは常に向上心が持て、自分自身が成長していけることです。人生を歩み出すというところでは良い課題を与えてもらえる職場です。出産後も続けておられる方がたくさんいますので、私も出産を機に辞めるのではなく、自分でやりきったと思ったときに、続けるか、辞めるかを選択したいと思いました。

しかし、不規則な仕事内容ですので、家族の協力がなければ続けられません。家族に迷惑をかけるので、どうしても無理と思ったときには、潔く辞めようと思い、恐怖感を抱きながらも職場復帰をしました。

藤田 職場復帰されて良かったですか。

酒井 そうですね。仕事だけをしていたときは失敗するといつまでも引きずって、仕事に対するストレスの



片山 邦雄
国際学部 教授 広報部長



小倉 康三
企業情報学部 教授 広報部長代理



占める割合が大きかったですが、出産を機にと言いますか、子供がいることによって、帰ってくるとやるものがたくさんあるので気が紛れ、気持ちを切り替えられるようになりました。いろんな人に感謝できるようになりました。

小倉 ANA・JALでも、ほとんどが女性スタッフだと思いますが、男性のチャンスはないのですか。

酒井 あります。男性客室乗務員は、総合職の社員の中から何名か、親しみやすく顧客志向のある人が選抜され、同じように新人訓練を受けて乗務しています。客室乗務員を数年経験したあと、営業や企画部門に配属されます。

藤田 日本の男性は非常に恥ずかしがり屋で、また、女性ばかりなので圧倒されて引いていかれます(笑)。女性がいっぱいでも公募は大丈夫です。日本アジア航空で男性乗務員がいますが、合格した男性を見ると、彼なら女性の職場の中でも大丈夫という人達です。ぜひ、男子学生も頑張って受験してほしいです。

小倉 ホスピタリティ・マネジメント・プログラムを生かす職業はエアラインだけではないですね。

藤田 エアラインだけではなく、ホテルや外食、ブライダルなど、以前はサービス産業と言われた業界が対象になります。

小倉 男性も有望ですね。

藤田 最後に今日、参加された感想を皆さん一言ずつお願いします。

真鍋 酒井さんのお話を聞かせていただき、結婚しても続けられる仕事だと思い、決意を新たにすることができました。

仲神 女性として出産しても仕事を続けていきたいと思いました。実際に両立されている酒井さんのお話を聞き、自分自身が成長できる仕事だと強く感じました。

成 いろいろなお話を直接聞くことができ、新たな道を見付けることができ、頑張っていこうと思いました。

前畑 不安を持っていたましたが、今日のお話を聞いて絶対に自分もなろうという決意を抱くことができました。

片山 皆さんの話を聞いて私も安心しました。本日はありがとうございました。



「キャリアセンター」開設

今年4月1日、「1年次からのキャリア支援」を目指し「就職センター」から「キャリアセンター」へと名称変更しました。

企業は、優秀な人材を確保しようとしています。そのなかで、自分の志望・適性にかなった職業を選択するには、自分をよく分析・理解することと、一般教養・コミュニケーション能力を身につけることが大切です。

進路を決めること、社会人となることは、「何かを手にして社会に出ること」です。就職活動では、4年間の大学生活がいかに充実したものであるかを、アピールしなければなりません。そのためには、学部の学習だけではなく、目的・興味に合わせプラスアルファの何かを見付け、充実した学生生活を送ることが必要です。

そこでキャリアセンターでは、3・4年次生を中心に行ってきた就職支援を1年次生まで拡げ、各部署と連携しながら、全学あげて学生一人ひとりの夢の実現に取り組んでいます。それでは、本学のキャリア支援プログラムについてご紹介します。

キャリアデザインルーム新設



キャリアデザインとは「将来に向けての人生設計」であり、そのためにまず自分自身を理解することから始まります。

キャリアデザインルームでは、将来の進路を決めるために、自己分析とその結果から進むべき道を考え、企業・団体の担当者から直接各業界の近況、採用状況について指導し、またセミナーやワークショップなどを通じて学生一人ひとりのキャリア支援をサポートしています。

場所：16号館2階キャリアセンター横

日時：10:00～18:00

今月の担当業界 11月

業 界	企 業 名
流通	大手スーパー
電気・情報システム	住友電工
食品・製菓	ロッテ商事
旅行	日本旅行
スポーツ用品	ミズノ

※担当業界は毎月変更いたしますので、ホームページ等でご確認ください。



キャリア形成支援プログラム

キャリアセンターの役割

適性検査

キャリア形成に関する科目との連携によるキャリア開発・形成支援

エクステンションセンターとの連携

インターンシップ

アルバイト就業に対する第三者評価プログラム

アントレプレナーの育成支援

資格取得

企業研究

進路・就職支援

就職・進学・留学など＝夢の実現

アルバイト就業に対する第三者評価プログラム開始

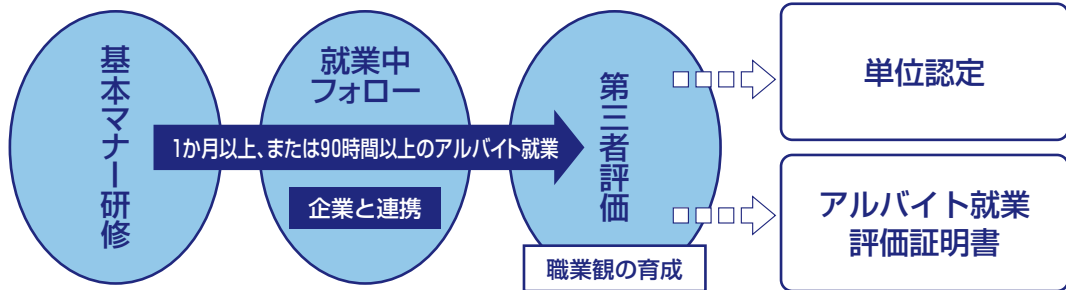


このプログラムは、在学生のアルバイト就業に対し、アルバイト先の企業から第三者評価を受ける国内大学初の取り組みで、アルバイト経験を通じて職業観を意識させ、キャリアに対する自己啓発を促すものです。

就業にあたっては、キャリアセンターがアルバイト先を紹介。学生が自己目標を設定した後、事前のマナー研修や就業中の支援を行っています。

アルバイト期間中、企業は「挨拶」「身だしなみ」「責任感」などの勤務態度、「判断力」「交渉力」「提案力」などの仕事の能力、「言葉遣い」「協調性」などの対人能力に関する24項目を5段階で評価し、大学に報告します。これらの報告等をもとに単位として認定し、希望者には「アルバイト就業評価証明書」も交付します。

第一弾として9月より、大丸百貨店で23人、阪神百貨店で4人の計27人が各売り場で接客対応しています。現在も学生から多数の問い合わせがあり、今後も企業を増やしていく予定です。



キャリア育成の流れと各種プログラム

キャリアセンターでは、学生一人ひとりが主体的に自らの「キャリア」を設計するための様々なプログラムやサポートを用意しています。ここでは、大学生活におけるキャリアデザインのステップとともに、キャリアセンターでの支援内容をご紹介します。

オリエンテーションガイダンス

自己発見レポート（適性検査）

4月

自己理解がキャリアデザインの第一歩！この適性検査で学生生活から将来の進路までライフキャリアプラン（生涯生活設計）をどう描くかヒントを見付けましょう。

キャリアアプローチ（適性検査）

4月

自分の適性を知り、自己理解を深めましょう。約1年後に始まる本格的な就職活動のために、今、自分に足りないものは？検査結果をもとに自分自身を知り準備を進めていけば、将来の進路に対するチャンスも広がり、充実した学生生活が送れます。

1年次

入学したときからキャリアデザインが始まります。

2年次

自分をみつめ、さらに大学生活を充実させましょう。

就職試験対策

2年次9月～3年次12月

筆記試験は多くの企業で実施されており、基本的な知識や能力を判断するためのものです。早めの対策が肝心！キャリアセンターでは模擬試験も無料で受験できます。筆記試験のほかにもエントリーシートの書き方などを指導。実践につながる試験対策です。

- ①一般常識試験 ②適性検査 ③SP I
- ④エントリーシート ⑤グループ面接

本学にはキャリア形成のための様々なプログラムがあります！！

- 在学時から就業体験！**
→インターンシップ
アルバイト就業プログラム（2年次生以上対象）
- ベンチャーや起業を目指す！**
→アントレプレナーレッスン
- ホテル・航空・ブライダル業界のスペシャリストに！**
→ホスピタリティ・マネジメント・プログラム
- 将来に役立つ資格取得！**
→エクステンションセンター MELOP
- 実社会で使える語学力！**
→EFL、I-Chat Lounge、国際センター



入学時からこのようなプログラムを活用し、充実した大学生活を送りましょう！



就職ガイダンス

5月～1月

就職活動の進め方や流れについて、活動時期に合わせて説明します。実際に就職活動をしている4年次生から体験談やアドバイスを聞くチャンスもあります。

- ①就職活動の流れ ②先輩の就活中間報告
- ③キャリアセンターの利用方法 ④内定者報告会
- ⑤会社選びのポイント

学内会社説明会・学内公務員説明会

3年次2月～4年次10月

各企業の人事担当者が学内に来られて行う合同セミナーです。毎回多数の企業が参加され、本学学生にお話いただけるまたとないチャンスです。この機会を生かして採用に至った例も多くあります。

- 参加企業数……2月：約500社
6月：約150社
10月：約150社



3年次

就職活動の準備がスタート。一人ひとりをサポートします。

自己分析

企業研究

エントリー

OB・OG訪問

会社説明会

採用試験

内定！！

キャリアデザインルーム（キャリアセンター横）

各業界の担当者が大学に！直接業界の最新情報や採用状況を聞くことができます。

キャリアセミナー

7月～12月

就職活動を行う上で必要な知識・マナーについて、講師を招いて学びます。

- ①職業理解 ②ナビ利用 ③自己PR
- ④優良企業の見分け方 ⑤マナー など

保護者就職説明会

12月

保護者の方を中心に行う説明会です。企業から講師を迎え、ご講演いただき、パネルディスカッションや就職説明を行います。

4年次

思い描いたキャリア実現に向けてラストサポート。

キャリアセンター（16号館2階）でお待ちしております！

個人相談（随時）

就職活動の疑問・質問や将来への不安など、スタッフが一人ひとりの相談に応じます。履歴書やエントリーシートの添削も行います。

将来の夢や目標がまだ定まっていない人も、まずは気軽に相談にきてください。

模擬面接（事前予約）

面接試験は採用試験の中でも最も重要！自分らしさを100%アピールするには、場に慣れることも大切です。キャリアセンターでは、スタイルチェックから自己アピールまで丁寧に何度でも指導します。

資料閲覧（自由）

閲覧コーナーには約10,000社の求人票や会社パンフレット、OB・OGが記録してくれた就職試験報告書などを常備しています。また、キャリアセンター前の掲示板には行事やホットニュースなどの情報が満載。

『利き手についての取材から』

5月にテレビ番組製作会社のスタッフから利き手についての問い合わせがあり、大学でインタビューを受け、その様子の一部が放映されました。

取材の要点は、左利きには特別な才能や適性があるといわれているが、それは具体的にどのようなものなのか、ということでした。最近左利き用のグッズがよく売れているそうで、グッズの紹介から始め、左利きの能力や左利きの子どもの育て方について専門家の意見を聞くという企画のようでした。

著名なスポーツ選手や芸術家などに左利きの多いことは以前から繰り返し話題になっています。これが左利きには何か特殊な能力があるのではないかと考える理由の一つになっています。

左利きと右利きの間に知的な能力の違いがあるかどうかを調べた研究は相当な数にありますが、結局のところ明瞭な相違はない、というのが現在の結論といってよいでしょう。つまり「左利き特殊才能説」は、科学的根拠のないまま長い間繰り返されてきた噂話のようなものなのです。メディア等が何度も取り上げるために、いまだにこの話を信じている人も多いようです。

問題なのは、この噂話に科学的根拠があるかのように説明する記事をまだよく見かけることです。左右大脳半球の働きの相違という、ノーベル賞受賞者も出た一連の研究の成果が、お決まりのように引き合いに出され、一見もっともらしい論理で語られます。

「左利きの才能」がどのようにして脳の働きから説明されるのか、一例を紹介しましょう。まず左右大脳半球（左脳、右脳と呼ぶことにします）の働きについて、左脳は言語的処理、右脳は非言語的処理や視空間能力において優れ、次に、左脳は右手の運動、右脳は左手の運動をコントロールしていると説明されます。ここまでは一応科学的根拠があります。ところが続いて、左利きは右脳をよく使っているので非言語的処理や視空間能力の点で優れるはずだ、と推測が進みます。こうして左利きは、非言語的材料を扱う音楽や絵画の分野が得意で、空間把握能力に優れていて、芸術家やスポーツ選手としての適性があるはずだ、となるわけです（図1参照）。実際には、左脳と右脳の違いを科学的根拠のないものにまで拡張することによって、さらに様々な「才能」が想定されます。

このような推測にはいくつか大きな問題がありますが、なぜかあまり報道されない否定的事実を一つ紹介します。それは、左脳が言語、右脳が非言語、視空間能力という対比が、元々右利きを対象とした研究結果をまとめたものであるために、そもそもこの対比そのものが左利きにはあてはまらないということです。十数年前、私はカナダのBryden教授のもとで一年間利き手に関する調査

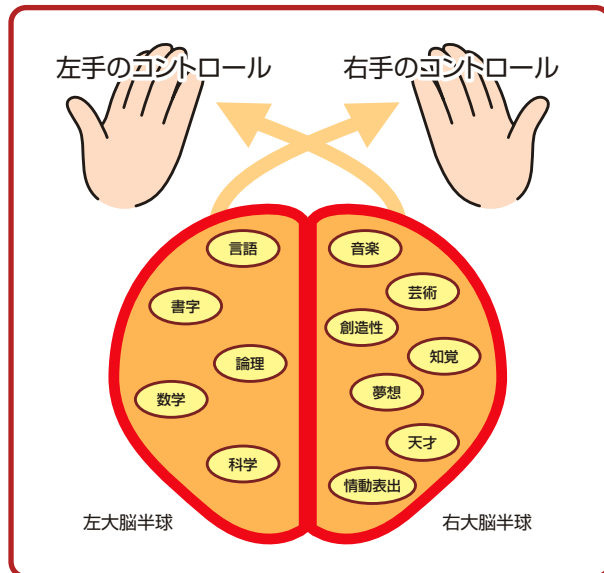


図1：左右大脳半球の機能の相違を示す図の例
言語、書字、音楽（一部）、情動表出以外には直接的な科学的根拠はない



伊田 行秀 国際学部 教授
主担当科目：生理心理学
趣味：スポーツ観戦
著書：「Side Bias」（共著）

を行いました。このときすでにBryden教授が報告していた調査結果によれば（表1）、視空間能力において右脳の方が優れている左利きは、左利き全体の38%に過ぎず、逆に左脳の方が優れていると推定される者は30%、どちらともいえない者が32%でした。この結果に基づけば、左利きは右脳をよく使うという考え方を認め、そして左利きは右脳の働きが優れているという考え方も認めたとしても、それによって左利きが視空間能力の高さに結びつくのはわずか左利き全体の38%でしかないことになります。そして30%の左利きは、左手をよく使っているために、かえって視空間能力は劣ることになるはずで、右利きでも左脳の方が視空間能力に優れている者が32%いるので、同じ理屈から、右手をよく使うので芸術やスポーツの才能があるはずだ、ということになる右利きが右利き全体の32%いることになります。少々ややこしくなりましたが、視空間能力や非言語的処理における左脳と右脳の相違という科学的根拠から「左利きの才能」を説明することはできないということです。

一方、優れた芸術家やスポーツ選手に左利きが多いとしても、それは別の理由で説明が付きまします。例えばスポーツでは左利きが有利になる種目（フェンシングなど）があります。左利きはおおむね人口の10%程度（日本では5%弱）しかいないので、右利きが左利きと対戦する機会は少なく、右利きにとって左利きはいつもとは動きの違う相手になり、苦戦することになりますが、左利きにとっては右利きはいつもの相手です。また両手を使えることが有利になる種目もあります。バスケットボールなどです。左利きの中には実際には両手利きといっていい者が多数を占めています。このように左利きや両手利きであること自体がスポーツにおいて有利な場面を形成するのであって、その点以外に特殊な才能を想定する必要は今のところないと考えられます。

このような話をスタッフにしたので、番組の内容は、「左利きの才能」ではなく、左手や両手を使うことがスポーツや芸術活動において有利になることがあるという程度になり、かわりに左手の小指を動かすと老化予防に役立つなど、当初の企画から外れた展開になりました。まさか老化の話で私の名前が出るとは思っていませんでした（老化の研究などしたこともないので）。

この取材のきっかけは、インターネットで私の論文がスタッフの目に留まったことでした。この論文は、本学の通信教育部の機関誌に掲載されたもので、学術雑誌ではないこの雑誌の情報までインターネット上に流れていることに少々驚いたものの、ネットの世界ではむしろ一般向けの記事の方が流通しやすいのであろうと納得したものでした。

インターネット上には利き手に関する話題は豊富にありますが、「左利きの才能」が相変わらず同じような論理で通用しているのは実に残念なことです。しかし最近では批判的な記事や疑問を呈する記事も見られ、以前よりは健全になってきていると感じています。情報をまず疑ってみることは、ネット世代には当然の作法なのかもしれません。それにしても、「左利きの才能」に対する否定的研究は、今回の取材でも取り上げられませんでした。論文を見せてきちんと説明したのですが…。いまだに誤解が通用している理由の一つを再確認させられる取材体験でした。

表1：左利きおよび右利きにおいて言語機能や視空間能力の優位半球が左、両側、右である割合

	利き手	優位な大脳半球		
		左半球	両側	右半球
言語機能	右利き	96%	0%	4%
	左利き	66%	17%	17%
視空間能力	右利き	32%	0%	68%
	左利き	30%	32%	38%

Bryden et al. (1991) より

CAMPUS LIFE

大学生活で学んだこと



企業情報学部 4年次生
元氏 宏輔

SPOT

大 学生生活も残すところあと半年、「大学生活で何を学んでいるのですか？何を学びましたか？」と聞かれると、必ずこう答えます。「大学の専門的な知識もちろん学びましたが、何よりも時間の使い方を学びました」と。

私は、中学高校時代は「陸上部」に所属して、クラブ漬けの毎日を送っていたので、大学生活が始まり、いざ自由な時間がたくさん使えるとなると、「学校が終わった後はアルバイトでお金を稼いで遊ぶ」というような生活の繰り返しに疑問を感じていました。そんなときに舞い込んできたのが、「高校時代の先輩からクラブ指導をしないか」という話でした。もちろん陸上部です。教職課程も履修していて、教えるということには興味がありました。次の日、早速見学に行くことになり練習を見ていると、そこには心を動かすものがありました。朝早くから生徒達が楽しそうに、一生懸命走っている姿を見て感動しました。そして、その瞬間から私のクラブコーチ生活が始まりました。コーチといってもボランティアなのでお金は一切もらえません。しかし、私自身が勉強させていただいていると思うので、無料で塾へ行っているようなものです、もちろん現役の先生方から生徒指導に関するアドバイスもしていただけるので、教師を目指している私にとってこれほど恵まれた環境はありません。ただ勘違いしてはいけないのが、私は教育活動に関わっているということ。つまり大学生であろうがなんだろうが、指導者としての責任があるので。生徒に対しての一言一言の重みを十分理解しなければいけませんし、生徒は必ず先生の行動を見ています。指導者として責任ある行動を心掛けなくてはなりません。私は、生徒達に決まって言うことがあります。



それは、「当たり前のことを当たり前でできる強い選手になろう！！」ということです。残念ながら挨拶や礼儀、最低限のマナーが守られていない選手もたくさん見受けられます。私は、仮にそういう選手が1番になったとしても強い選手ではなく、ただ走ることが速いだけの選手だと思います。結局、だれもができる当たり前のことが当たり前でできないようでは、勝てるはずがないのです。これができると学校生活も変わってきます。トイレのスリッパが散らかっているのも何も言わなくても自主的に揃えます。机の列が乱れていれば、自分以外の友達のものも揃えます。私も気づかないうちに、生徒達の心が強くなっているのです。また、練習の質も自然に高まってきます。3年間かけて大会に挑んでくるチームにわずか半年足らずの練習期間で、勝ってしまうのです。嘘のような本当の話です。

正直、しんどいときも悩むこともあります。それを乗り越える度に思うことは、結局、私が生徒達に成長させてもらっているということです。私はまだまだ指導者として人間としてヒヨコ（未熟）です。しかし、自分が弱いと自覚することこそが、強くなるための第一歩だと思っています。4年間という限られた大学生活の中で、クラブ指導が私にとって切っても切り離せない「自分を成長させる充実した時間」になっています。

CLUB ACTIVITIES

CLUB

ACTIVITIES

ラクロス部 (男子)

私たちラクロス部(男子)は、昨年の二部降格という悔しさをバネにこの一年間リーグ戦での一部昇格を目標に日々練習に励んでいます。

ラクロスはカナダで始まったスポーツで、フィールドの大きさはサッカーよりも少し大きく、先端にネットがついたスティックでボールを運び、相手ゴールにシュートをして得点を競う球技です。また、「地上最速の格闘球技」と呼ばれるほどの球速や体当たりの激しいスポーツです。

現在は選手18人、マネージャー3人で週5日活動しています。

私たちのチームには監督・コーチがいないため、練習メニューは上級生を中心に考え、今年は週5日の練習以外に筋力トレーニングや走り込みなどをしてきました。

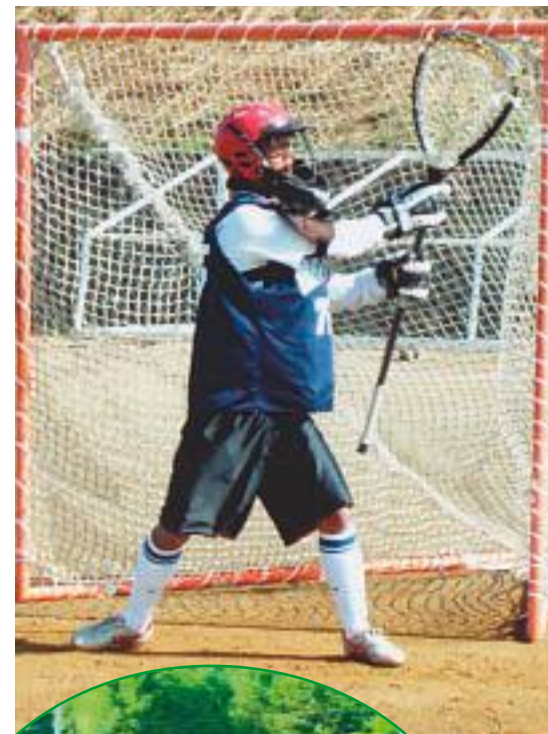
監督はいませんが、休みの日になるとOBの方がたくさんきてくださり一緒に練習をし、様々な指導をしてくれます。

練習をするときは自分たちが納得するまでとことん練習し、遊ぶときは思いきり遊ぶといったメリハリをつけることが私たちのチームの良い所です。

今年はこのチームで一部昇格を目指しているのでご声援よろしくお願いします。

最後に、現在、ラクロス部は部員があまり多くないため新入部員の力が必要です。このスポーツは大学から始める人がほとんどで私たちのチームも含め、ほかの大学の選手もみんなスタートラインは同じです。努力次第では関西の代表や日本の代表にも選ばれることができます。

少しでも興味のある方はぜひ見学にきてみてください。マネージャーを希望する人もお待ちしております。



マネージャー
外国語学部 4年次生 塩崎瑠璃子
流通科学部 3年次生 松井由起



ウイルス感染症AIDSとHIVの関係

AIDSとは後天性免疫不全症候群の略称で、日本語でエイズ、英語ではAIDSと表示され、HIV (human immunodeficiency virus : ヒト免疫不全ウイルス) というウイルスが人間の血液の中に入って起こるウイルス感染症です。

発症まで約10年……AIDSにおける免疫不全の仕組み

健康な人の生体防御は抗体と協力しながらヘルパーT細胞の指令のもとに多種の免疫細胞を活性化させて進入した細菌などを殺しています。

HIVは免疫のかなめであるヘルパーT細胞に侵入し、この細胞の中で増殖し、ヘルパーT細胞の数を減少させるとともにその機能を低下させるのです。その結果、原虫やウイルス・カビ感染に対する抗体ができなくなり、免疫不全のため死亡に至ります（感染してからエイズの発症まで潜伏期間は約10年）。

エイズ患者・HIV感染者は増加し続けている!!

世界のエイズ患者・HIV感染者は平成17年末現在生存している感染者数約4,030万人、日本では、平成18年1月現在、累計患者・感染者は約10,961人と増加し続けています。

感染経路を知って正しい予防を!!

HIVの感染経路3つ

1. 感染者との性行為（HIVは感染者の血液・精液・膣分泌液に含まれる）
2. 汚染した注射針や注射器
3. 感染した母親から子どもへ（血液・母乳）

簡単に受けられるHIV検査相談

1. 各都道府県のほとんどの保健所で匿名検査によりできる（費用は無料）。
 - ・ 5ccほどの血液でHIV感染の有・無を判定
2. 検査の時期は感染の可能性がある日から8週間以降に
 - ・ 抗体が大量にできるまでに6～8週間かかるため

詳しい資料は、保健センター（12号館）にありますのでいつでもお立ち寄り下さい!!

CAMPUS NEWS DIGEST

新役職者〔2年任期〕



流通科学部長
國領 英雄 教授



経営科学部長
西村 慶一 教授



国際学部長
瀬川 真平 教授



情報学部長
松田 潤 教授



企業情報学部長
船本 修三 教授



国際学研究科長
大塚 和義 教授



法務研究科長
南川 諦弘 教授

人事

新任〔平成18年10月1日付〕



流通科学部
M. H. マツノ 助教授



国際センター
J. F. スミエ 助教授

退職〔平成18年9月25日付〕

国際センター A. A. アイハラ 客員助教授

前期末卒業式



〔9月25日（月）5号館地下2階アトリウム〕
平成18年度 前期末卒業式が執り行われ、大学121名、大学院2名が卒業しました。
白井善康総長から学位記が一人ひとりに授与され、これから社会へ羽ばたく卒業生にお祝いと励まし、そして社会人としての心構えなど、晴れの門出に際してのはなむけの言葉が贈られました。

法科大学院公開講座「新・会社法を読み解く」



〔5月10日(水)、17日(水)、31日(水) 2号館B1-02教室〕
平成18年5月に施行され、大きな話題となっている「会社法」をテーマに全3回の講座を開催しました。

1・2回目は、商法・会社法分野の研究で著名な本学の田邊光政 教授(法学博士・弁護士)による講義で、膨大で難解な会社法を分かりやすく解説されました。

第3回は、「企業買収と防衛策」と題して、パネルディスカッションを行いました。パネリストは、会社法・証券取引法分野の最高権威である河本一郎 神戸大学名誉教授(日本学士院会員・法学博士・弁護士)、ライブドア事件やニレコ事件等数多くの企業買収事件を手掛けてこられた池田裕彦 弁護士、そして本学の田邊教授という顔触れです。各パネリストからの基調報告を受け、参加者から予想を上回る数の質問があり、たいへん活発な質疑応答となり、改めて今回のテーマに対する関心の高さがうかがえました。

なお、本講座の開催にあたり、関西経済連合会ならびに大阪商工会議所にご後援いただきました。改めてお礼申し上げます。

ラグビーワークショップ



〔7月9日(日) 千里山グラウンド〕

本学ラグビー部田代義晴監督を講師として、「第6回ラグビーワークショップ」を開催しました。今回もワールドファイティングブル、近鉄ライナーズから現役選手、社会人指導者にご協力をいただき、ポジション別に分かれて基本スキルを中心に充実した技術指導を受けました。午後からは大阪学院大学VS大阪経済大学、大阪学院大学VS奈良県立医科大学との練習試合が行なわれ、参加した85名の高校生は日本のトップレベルの指導に感激し、ラグビーの魅力を改めて感じている様子でした。

OGU オリジナルTシャツ ロゴ デザインコンテスト開催・授賞式



〔6月7日(水) 17号館1階レセプションC〕

「より多くの学生に、大学のオリジナルグッズを愛用してもらいたい」という目的で、昨年度末にオリジナルTシャツロゴデザインコンテストを開催いたしました。25点の応募があり、どの作品もオリジナリティに溢れた作品でした。選考の結果、国際学部4年次生の山口惇君の作品が最優秀作品に選ばれました。その後行われた授賞式では、山口君は「この受賞をきっかけに、デザインの技術を更に磨き、様々な学校行事にも積極的に参加していきたいと思います。」とコメントをしていました。今後も学生の光る個性・能力を発揮できるイベントを企画していきたいと考えています。

ハワイ・アイランド・ムーバーズとの国際交流 およびハワイ遠征



〔7月9日(日)～7月15日(土)・
28日(金)～31日(月)〕

米国・ハワイ州との国際交流の一環として、ハワイ州の大学を中心とした、米国本土の大学野球選手と本学の内野手の小野裕児さん(経済学部3年次生)と投手の平野誠さん(企業情報学部3年次生)の2名を含めた選抜チーム「ハワイ・アイランド・ムーバーズ」を迎え、合同練習・交流試合、歓迎イベントなどを実施しました。

また、7月下旬には、レス・ムラカミ・スタジアム(アメリカハワイ州)でハワイ・アイランド・ムーバーズと国際交流試合を行いました。野球技術の向上は勿論のこと異文化理解を深める交流ができました。

教育懇談会



本学会場：9月1日(金)・2日(土)・3日(日)
地方会場：8月22日(火)～9月15日(金)

教育懇談会では、保護者の皆様に対し本学の教職員が、学業状況に関する資料を基にご説明し、学生生活全般について各種ご相談・ご質問にお応えしています。

今年度は、本学会場および地方14会場において開催いたしました。本学会場では、ゼミナール担当教員が直接相談を行い、授業時の様子など、より密な相談をさせていただきました。また、9月1日(金)の本学会場では、株式会社関西雇用創出機構の小倉寿雄氏によるキャリア講演「変わる大学の就業支援」を行い、約80名の保護者が参加されました。

なお、教育懇談会の開催中だけでなく、来学・電話等によるご相談も、一年を通じて受け付けておりますので、いつでもご遠慮なくお申し出ください。

2006 フェニックスフェスティバル 「古典芸能の夕べ」～大阪学院大学 新能～



〔10月23日(月) 体育館 特設舞台〕

観世流シテ方 大江家七代御当主 大江又三郎師のご支援を賜り、今回で13回目を迎えたフェニックスフェスティバル「古典芸能の夕べ～大阪学院大学 新能」を開催いたしました。当日は雨天のため、体育館に会場を移し、半能「吉野天人」、狂言「佛師」、仕舞「放下僧」、能「船弁慶」の演目をご披露いただきました。来場された約400名の方々は芸術の秋を堪能できた一夜となりました。

法科大学院公開講座「裁判員制度を読み解く」



〔10月21日(土) 14号館2階(模擬法廷)〕

司法制度改革の一環として、平成21年5月までに導入される「裁判員制度」について、本学学生はもちろん、地域の皆様方に広くこの制度をご理解いただこうと、大阪高等裁判所のご協力をいただき、そのしくみを読み解くための公開講座を開催しました。

裁判員制度とは、どのようなものなのか、どのようにして選ばれてどんなことをするのかという疑問について、大阪高等裁判所の伊藤寿判事が、ビデオを交え、分かりやすく解説され、参加者からは積極的な質問が出され、だれもが候補者となる可能性がある問題だけに、大変感心の高い講座となりました。

岸辺祭



〔10月27日(金)～10月29日(日)〕

「Cheer!」をテーマに岸辺祭が開催されました。今年は地域の枠を広げ、多くの交流を持てるよう、吹田市民参加型の「フリーマーケット」や文化会主催の音楽祭「～白い空は千切れる～」の新企画や、日ごろの活動の成果を発揮する学術祭・展示祭・音楽祭・演武祭や、一般公募展「応援」・「絢香」ライブやものまねタレント ホリによるトークショーやキャンパスクィーンコンテスト、さらには後夜祭のレーザーショーなど様々なイベントが繰り広げられました。この岸辺祭がこれからの大学生活に励ましの大きな力となることでしょう。

INFORMATION

December~

庶務課

2006 イルミネーション

期 間：12月1日(金)～12月25日(月) 17:00～20:00

場 所：2・17号館前

問合先：庶務課（渉外係）

キャンパス内の大小の木々に1万5千個以上の電飾を施し、イルミネーションの点灯を行います。暗がりに浮かぶ時計台と木々にきらめく光のファンタジーが冬の夜を彩り、いつもと違ったキャンパスが楽しめます。オープンカフェによるホットドリンクサービスや、学生によるミニコンサートなど様々なイベントも予定しています。期間中、ご自由にお立ち寄りいただけますので、ぜひお越しください。



キャリアセンター

保護者就職説明会

保護者就職説明会は、就職および就職活動を控えた学生を支援するため、保護者の皆様にも現在の就職状況などについてご理解いただくことを目的に実施しております。この機会に在學生も参加していただき、今後の進路の参考にしてください。

日 時：12月3日(日) 13:00～(受付：12:30～)

場 所：15号館 ※詳細は、同封のご案内をご覧ください。

キャリアセンター主催の行事予定

【大学4年次・短大2年次生対象】

3月16日(金)	就職ガイダンス(特別編) フォローアップガイダンス⑥	卒業間近に、進路が決定していない学生を対象のサポートガイダンスです。進路が決定していない学生はぜひ参加しましょう。
----------	-------------------------------	---

【大学3年次・短大1年次生対象】

12月4日(月)	キャリアセミナー(面接攻略)	面接試験にも、個人面接・集団面接・グループディスカッション・圧迫面接など様々です。人事担当者の視点を検証し、最大限アピールできるよう面接のノウハウを身につけましょう!
12月5日(火)～12月15日(金)	キャリアセミナー(グループ面接)	グループ面接は、個人面接と違って相対評価になります。そのため、個人面接よりも強くアピールしなければ面接官の印象に残りにくくなります。まずはグループ面接を体験してみましょう。
12月11日(月)	キャリアセミナー(マナー)	社会人にとってマナー・立ち振る舞いは重要なポイントです。この機会にビジネスマナーをマスターしましょう!
1月15日(月)～1月19日(金)	第4回就職ガイダンス	いよいよ企業の方と直接お会いする機会が近づいてきました。2月に控えている会社説明会・合同会社説明会に参加するポイントを説明します。
2月14日(水)～2月28日(水)	第1回学内会社説明会	各企業の採用担当者が来学されます。(約500社参加予定) 企業の特徴、採用計画等をご説明いただけます。
3月上旬	学内公務員説明会 ※全学年対象	各団体の採用担当者(10団体程度)から、公務員の使命、採用計画、試験対策等をご説明いただけます。

学 生 課

謝恩パーティー

3月20日(火) 17:00開宴

会 場：リーガロイヤルホテル(大阪) 光琳の間

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番68号 TEL. 06-6448-1121

対 象：卒業生(平成18年度)



ラーニングセンター

平成18年4月から、17号館3階に「ラーニングセンター」が開設されました。大学の講義に出席してもその内容が分からないということがありませんか。その原因は、これまでに学んだはずの基礎的事項や内容が理解できていないからかもしれません。

ラーニングセンターでは、学習相談や個別指導を行い、皆さんの基礎学力向上のための学習支援を行っています。アドバイスや学習支援する教科は「国語」、「英語」、「数学」です。楽しく、有意義な学生生活を過ごすため、一度ラーニングセンターを訪ねてください。

国際センター

海外提携大学から次の13人の留学生が日本語を勉強しに本学にやってきました。これを機会に、国際交流をしてみたいいかがですか?(平成18年10月～平成19年7月)

セント・トーマス大学(アメリカ)



Brandon M. Ford
ブランドン M. フォード



Wei-Lin Hsiao
ウェイリン ショ

オルレアン大学(フランス)



Anne-Léonor M. Dardenne
アン＝レオノー M. ダーデン



Cyril A. Horn
シリル A. オン

ハワイパシフィック大学(アメリカ)



James A. McGrath
ジェイムズ A. マグラス

トリア大学(ドイツ)



Heike Hamann
ハイケ ハマン



Gill A.H. Hurt
ジル A. H. フート



Nico Theisen
ニコ タイセン

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(アメリカ)



Haekyung Chung
ヘギョン チョン



David T. Koroki
ディヴィッド T. コロキ



Sara E. Rowe
サラ E. ロウ

ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ(アメリカ)



Sarah M. Baker
サラ M. ベイカー



Matthew I. May
マシュー I. メイ